

バランスと加減

昔、塩というものを全く知らない男がいた。

ある人が、この男の食べている汁物に「これ

を少し入れるとおいしくなりますよ」と言って

塩をふりかけてやった。男はそのおいしさに

びっくりして、塩を分けてもらい、「塩というものは、

ほんの少し入れるだけで、あんなにおいしいのだから、

それだけを食べるともっとうまいだろう」と考え、

塩をひとつかみ口に入れてみたが、あまりの塩辛さに

全部吐き出してしまった。「どうして少しのほうがおいしくて、多いとかえってまずいのだろう」

男はいくら考えてもわからなかったという。

この話は、いろいろなことを考えさせてくれます。

ものごとや、その在りようには全体を保つバランスというものがあり、全体の中にある部分が

いかに大事に見えようとも、その部分だけを取り出してしまうと、その働きそのものを失って

しまう。

又、肥満の人が痩せたいと思って、食べなければ痩せるだろうと無理な減量をする、かえって

体をこわしてしまうように、ものごとには、加減というものが大事だということでしょうか。